

とうきょう すくわく プログラム

こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

ブライト保育園調布仙川 実践紹介！

とうきょう すくわくプログラムってなに？

幼稚園や保育所において、子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、学べるよう応援する取り組みです。取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった豊かな心の育ちをサポートしていきます。

すくすく

すべての乳幼児の
伸びる・育つ

×

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム

東京都

「非認知能力」の育成等、乳幼児の成長・発達をサポート

なんで？ どうして？

できるかな？ こうしてみよう！

できた！ 今度はあれをやってみようかな

好奇心を持つ
きっかけを増やす

考えを広げる

考えを深める

すくわくプログラムはどんなことをするの？

安全安心な環境のもと、子供たちが興味・関心を深められそうなテーマを園で設定し、好奇心を持つきっかけを増やしたり、考えを広げ、深めたりする取り組みを行います。

非認知能力とは

自己にかかわる心の力

- 自尊心
- 自己肯定感
- 意欲
- 粘り強さ

社会性にかかわる心の力

- 心の理解能力
- 共感
- 思いやり
- 協同性

テーマに関する子供たちの考えやイメージを引き出すための問い（例：〇〇ってなあに？）を考え、素材や道具を準備し活動を行います。

テーマ例：光・色・自然・音・泥遊び・絵本など

豊かな心の育ちを応援
乳幼児期は、「非認知能力」を培う大切な時

東京大学大学院 教育学研究科 教授 同附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) 長 遠藤 利彦

子供が伸びやかに成長していくためには、無限大の好奇心に従って、心躍らせながら遊び学ぶことが重要です。また、同年代の子などと互いの個性を認め合いながら、1つのことに協力して取り組むことも大切です。この認識のもと、東京都と CEDEP は、「とうきょう すくわくプログラム」の支援に連携して取り組んでいます。



とうきょう すくわくプログラムは
こちらからご覧いただけます。

とうきょう すくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター (CEDEP) との協定の下、東京都の「とうきょう すくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



社会福祉法人済聖会
ブライト保育園調布仙川

電話

03-3300-0190

所在地

東京都調布市仙川町
3-17-6



ブライト保育園調布仙川で

とうきょうすくわくプログラムに取り組みました

1歳児
クラス



テーマ からだ

子供たちは自分の「からだ」を無意識に使いながら、日々生活の中で様々な不思議と出会っています。手を使った活動から、自分の「からだ」について興味、関心を深めることを目的にテーマを設定しました。

感触を楽しもう！

この日の活動では、さらさら、ぬるぬるなどの感触を感じ、深められるように、小麦粉、パン粉、片栗粉、きな粉などと、それらを入れるためのおけやコップなどの容器を準備しました。



1歳児は、「触る」ことにより、感覚が豊かになっていく時期です。これまでの活動でパン粉、片栗粉などの素材を1つずつ体験してじっくり関わってきたので、その集大成として様々な素材や道具を一同に用意し、自由に選んだ素材や素材同士の混ぜ合いの感触を確かめ、深めました。



どんな手触り？どんなにおいかな？

手触りを楽しみ、においを感じるなど、子供たちは一人一人集中していました。

ある子は、初めに小麦粉の感触を味わった後、水と混ぜることでぬるぬるした感触に変化し、水の量を増やすことでさらに感触が変わることに気付いていました。

また、コップにきな粉と水を入れ、水が跳ねる感触を楽しむ姿や、味わった感触を言葉で伝えようとする子供の姿も見られました。



(パン粉を触って)
ちくちくした



手、見て



活動を通して

参加した子供たち全員が、それぞれの素材との関わりに数十分の間没頭しており、集中力が想像以上に持続していました。他の子の活動から刺激を受け、自分も真似してみるなど、集団で学び合う姿が見られました。

